

市立川西病院

病院敷地 約 15710 m²

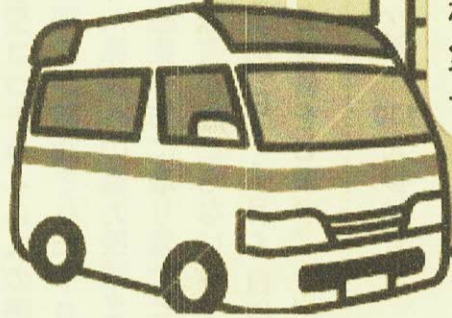
駐車台数 179 台

二次救急病院
許可病床 250 床
(稼働 234 床)

7 : 1
看護体制

市北部から二次救急がなくなっていくのか？指定管理者制度でいいのか？パンデミック、自然災害の今、改めて、考えてみませんか。

2017 年度
入院 191.1 人
外来 422.9 人
(1 日あたり)
病床稼働率
81.7%
(234 床計算)



内科 (消化器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科)・小児科・外科・緩和ケア外科・整形外科・産婦人科・耳鼻いんこう科・眼科・泌尿器科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科・病理 診断科 消化器内視鏡センター、生活習慣病センター、乳腺センター 13 診療科・3 専門センター

※2020 (R2) 年度は、許可病床 250 床 (稼働 197 床)
10 : 1 看護体制 4 階北病棟閉鎖

現川西病院	2020 年 4 月	5 月
入院 (1 日あたり)	113.4 人	113.8 人
入院稼働率	57.6%	57.8%
外来 (1 日あたり)	179.2 人	157.9 人

※入院稼働率は、197 床で計算

※ 職員数 医師 38 人 看護師 137 人 助産師 9 人 准看護師 4 人
医療技術職員 54 人 事務職員 19 人

「北部医療の在り方」



2017 (H29) 年 5 月 1 日 新聞報道先行

市立川西病院閉鎖に伴う北部地域の医療対策として山下駅前に土地を購入して「北部急病センター」を建設すると発表。

内科、整形外科、小児科の医師を各 1 人配置して 24 時間体制。4 つの診察室、8 つの観察室の一次救急とする。

問題点～入院・手術ができる二次救急病院がなくなる。CT・MRI 検査ができない。3 人の医師で外来患者を診ることができない。北部に皮膚科など開業医が少ない、もしくは診療科がない。

2018 (H30) 年 1 月 26 日 突然の計画変更

「北部医療の在り方について」①現川西病院・正面駐車場で診療所建設、<平日>内科 3 診・整形外科 1 診・小児科 1 診、外科など 1 診 (計 6 診)、<土日祝>内科・整形外科・小児科各 1 診は午前診。24 時間対応は内科 1 診のみ。開業医を誘致。②診療所に MRI・CT などの高額画像診断機器は整備せず、キセラ川西センターまでシャトルバス (1 時間 1 本) 運行 (市単独予算)。市内総合病院に高額画像診断機器設置助成金の創設 (同) ③建設後 35 年目を迎える病院は解体、「医療・福祉ゾーン」とし民間法人公募 (土地は無償貸与)・・・と内容変更。

問題点～入院・手術ができる二次救急病院がなくなる。CT・MRI 検査ができない。24 時間体制は内科 1 診のみになり、更に医療の縮小になる。現病院敷地内に診療所建設のため山下駅から遠い。

2018 (H30) 年 7 月 26 日 構想 (案) 発表

「北部医療の在り方について」診療所 (公設民営) 計画①<平日>内科 3 診・整形外科 1 診・小児科 1 診・外科など 1 診 (計 6 診)、<土日祝>内科・整形外科・小児科各 1 診、24 時間対応は内科 1 診のみ、開業医 2 診誘致。シャトルバス運行。

問題点～上記と同じ。

2020 (R2) 年 6 月 18 日 診療所計画変更

診療所計画の変更を提案。①医療法人晴風園・今井病院 (猪名川町) が、現病院敷地内に 160 床 (回復期 120 床・慢性期 40 床) の新病院を建設。外来は内科、CT 検査。②保健センター内の応急診療所機能 (日祝の午前診・午後診) を移設。③協和会が小児科外来をもつなど、晴風園・市医師会の 3 法人で地域医療連携推進法人の立上げなど予定。市長は、市民と決めていく、としています。(たんぼぼだより 213 号掲載)

問題点～二次救急機能がなくなる。MRI 検査はない。24 時間体制がなくなる。公設でなくなる。外来機能が減る。計画が何度も変わっているが大丈夫か。



元気に 平和行進

「コロナ」下で工夫

毎年恒例の国民平和行進。5 月 6 日東京夢の島・第五福竜丸展示場を出発し、歩いて行進をつなぐのですが、今年は、新型コロナウイルス感染症予防のため、通常より規模を縮小して行われています。

それでも 7 月 7 日、大阪から兵庫への引継ぎは例年通り川西市役所前で行われ、今年は立憲民主党の桜井周衆議院議員 (写真中央) があいさつ、日本共産党の小村潤比例予定候補のメッセージが披露されました。パレードの後、被爆 75 周年のバトンが宝塚に引き継がれました。

川西市役所ロビーには、折鶴コーナーや「ヒバクシャ国際署名」「平和首長会議署名」が置かれています。署名は 1184 万人分 (3 月) を超え、8 月 6 日から行われる原水爆禁止世界大会はオンラインで開催 (2 日) されます。